

# 「消費者教育を体験しよう！！」

## 自治会・老人クラブなどでの消費者教育出前講座のご案内

消費者が商品を「選ぶ」「使う」「処分する」という行動は、社会・経済・環境に影響を与えています。私たちは、常に社会への影響を考えながら消費生活を営むことが必要であり、築かれる社会は「消費者市民社会」と呼ばれています。

土別地区広域消費生活センターでは、消費者としての権利や責任について学び、自分たちが社会の中で今後大きな役割を担っていくということを自覚させる様々なテーマで、体験型の消費者教育出前講座を実施しています。

### ■ 買い物から環境問題について学ぶ

カレーライスをつくることを想定し、グループ毎にレシピに沿って予算の範囲内で模擬店にて材料を計画的に購入させ、残金を競います。購入後、容器包装に処理費用がかかることを学び、将来主体的に環境に配慮しつつ、自分にとって本当に必要なものは何かを考え、購入することのできる消費者を目指します。また、実生活ですでにゴミの分別をしています、間違いやすい品目など清掃担当者から事例を交えたお話を聞き分別についての知識をつけることを目的に実施します。

